

汗牛充棟



「かんぎゅうじゅうとう」とは、牛が汗をかくほどの重さと、棚につかえるほどの量、転じて、多くの書物の意

『今日のおすすめの本』

先生より

*書名の下の句は「図書館に蔵書あり」の意

須田 栄治先生

『ウトの壁』

養老 孟司 著



戦前生まれの著者が考えた
抜いた究極の人間論！
ヒトという生物をあらためて問い直す。

この本は、養老孟司氏(1937年〜)のエッセイです。養老孟司氏は、東京大学医学部教授をしていた解剖学者です。この本は、“コロナ”や“AI”など、我々の身近な話題について著者の経験や考えについて書かれています。内容としては、難しい内容もありますが、その難しい内容や考えを自分にも適用できるように一般化して考えることで、誰でも楽しめる本だと思います。

「医者にかかれば医療制度に巻き込まれる」

ここでは、著者が病に倒れた際に病院に行く決意をしたところから、病院に一度行くと“次は一週間後に…”や“食事に気を付けてください”など生活の制限をされる。これは、コロナ渦で旅行、食事会などいろいろなものが制限されている中でさらなる制限をしなくてはならず、どうせ残り短い人生を自由に生

きたいという著者の嘆きでした。“医者にかかれば医療制度に巻き込まれる”をより身近に一般化するならば、“学びを得ようとする”と学校に巻き込まれる”でしょう。学生のうちはもちろんですが、大人になっても何かを学ぼうとするとかかと“学校”というものに巻き込まれます。例えば、英語が喋れるようになりたければ英会話スクール、趣味のテニスがうまくなりたければテニススクールなどに通う。何かを学ぶとき、やたらと“学校(スクール)”にお世話になり、“週2日17時〜”や“宿題”など生活の制限がいついてくる。まさに先述の医者の話と全く同じです。

本の内容に戻ると、著者は結果的に病院に行くことで命の危機を脱することができました。この話を簡単に説明すると、面倒くさいこと(医者にかかることで起こる生活の制限など)に挑戦することで、結果的に自分を助けたということである。この話を教訓に、たとえ今は面倒くさい、やりたくないことでもそれはきつと自分の生活を助ける(より良くする)ことにつながるかと考え、チャレンジする、努力できる人になろう!と読んだ人は思うでしょう。

この話以外にも興味深い話がたくさん書かれています。戦前から私たちよりもずっと長く生きていた著者の考えに触れるというのは、きつと読んだ人の生活に何らかの影響を与えてくれると思います。

図書委員より

1年F組

『ブラック企業とシュガー社員』◎ 田北 百樹子 著



自分にとことん甘いシュガー社員が増殖する理由は、会社のブラック度にある?!

ブラック企業、パワハラ上司、老害…こんな言葉を聞いたことがあると思います。最近の若者が上の世代の人や自分の勤めている企業に対して思うことは沢山あるとよく聞きますが、逆に若者も年上の人にそのようなニュアンスの言葉で呼ばれたりしています。「シュガー社員」…この言葉は、最近の優柔不断で、詰め甘い若い社員のことを年上の人から話すときに使います。「ブラック企業とシュガー社員」この本はシュガー社員と馬鹿にされないためにどうするか、何ができるかを考えさせられます。まずは手にとって、目次でも眺めてみてください。

『天久鷹央の推理カルテ』 知念 実希人 著



摩訶不思議な事件には、思っても寄らぬ「病」が隠されていた…!

この本は天久総合病院統括診断部の主人公の小鳥遊と部長の天久鷹央がさまざまな事件を解決していく医療ミステリー

である。スピード感があって常に物語が転じているので飽きることなくいつきに読める。それに著者の知念実希人は多くのひとを看取って命の現場に身を置いてきた医者なので血の通った物語を読むことができる。ミステリー好きでもそうでない人にもオススメできる本なので是非読んでもらいたい。

1年G組

『君を愛したひとりの僕へ』 乙野 四方字 著



たがいに抱いたほのかな恋心は、結ばれないと思込んだ瞬間に、世界を一変させてしまふ。

人々が少しだけ違う並行世界で日常的に揺れ動いていることが実証されている時代。両親が離婚し、父親と暮らす日高暦は父親が働く虚室科学研究所で佐藤菜に出会います。2人はほのかな恋心を抱くが、お互いの親同士が再婚することになってしまい、2人は兄弟にならない並行世界に跳ぼうとするが…という話です。この本は「僕が愛したすべての君へ」という本と同時刊行されており、どちらから読むかによって結末が変わる本です。ぜひ読んでみてください。

『収容所から来た遺書』

辺見 じゅん 著



敗戦後遺族が手にした遺書。そこにはシベリア抑留を生き延びた男たちの苦難の数々があった。

第二次世界大戦後、シベリアに抑留され強制収容所(ラーゲリ)で、極寒と飢餓と重労働の中死んでいった山本幡男の遺書が、彼を慕う仲間たちの驚くべき方法によって厳しいソ連監視網をかき潜って、遺族に届けられたという物語です。この作品は著者が山本らの収容所での生活と遺書の経緯を調査し書いた、事実を元にした作品です。とても感動できるのでぜひ読んでみてください。

1年H組

『うまくいってる人の考え方』 ジェリー・ミンチントン 著



うまくいっている人の考え方。方なかに、人生の達人になるヒントがかくされている。

筆者のジェリー・ミンチントンが100個の項目で自尊心の付け方について語っている本です。大人向けの本となっておりますが、読む部分によっては自信をつけるためにはどうすれば良いのか学ぶことができる本です。

『転生したらスライムだった件』 伏瀬 著



奇想天外の小説世界に身を置いて、あなたも「キャラクター」となって冒険の旅に出よう！

ライトノベルとして、シリーズ累計発行部数2400万部を超えている大ヒット作品です。この作品の内容としては主人公が通り魔に刺されて、気がつけばスライムとして異世界に転生していたというお話です。スライムといえば序盤に出てくる最弱モンスターですが、元の世界から異世界に転生する途中で得た特別なスキルや前世の記憶を活かしてさまざまな困難を乗り越えていきます。図書室に置いてあるので少しでも興味を持った人は是非借りてみてください。

1年I組

『記憶屋』

織守 きょうや 著



忘れたい記憶を消してくれるという「記憶屋」との出会いがあなたの人生を変える。

この物語は、恋人の杏子にプロポーズを受け入れてもらい、幸せの絶頂にあった大学生の遼一の些細な出来事から始まります。しかしそんな遼一は、杏子と突然連絡が取れなくなり。そして、数日後に偶然再会した時、彼女は遼一の記憶を完全に失っていたということがわかります。実は遼一は、幼い頃に幼なじみの真希との間で似た経験をしたこと

あるのです。やがて、忘れた記憶を消してくれるという都市伝説「記憶屋」のを知り、真希と弁護士の高原と共にその事象の謎を追い始める、といったホラー系の小説です。これは、読み進めていくにつれ、謎の正体の謎が徐々に増えていくので、最後に謎の正体である記憶屋の存在を知った時は、衝撃が走ります。ミステリーやホラーがお好きな方は、おすすめですよ。

『終電の神様』

阿川 大樹 著



満員電車の事故による「運転停止」が、乗り合わせた人にとって、思いがけないターニングポイントになる。

この本は普段色んな人が利用している電車での話です。誰も一度は人身事故などで遅延している電車に出会ったことあると思います。もしそれが学校の日ならきっと私は喜んでいと思う。しかしそれが都合が悪い日と考える人もいます。彼氏との待ち合わせで電車に乗った人、家族の待つ中会社から帰るのに電車に乗った人、親が危篤で病院に向かうのに電車に乗った人、そしてその場で電車に飛び込んだ人。それぞれがどんな思いで電車に乗っていたのか。各視点のストーリーが一つ一つ共感できる本となっています。

1年J組

『12人の死にたい子供達』

冲方 丁 著



安楽死をするために集まった12人の少年少女。そこには謎の13人目の死体があった…。

最初は12人で「死ぬ」という目的のために集まっていた子供達だったが、先に目的を達成してしまった13人目の子が出てきます。それからそのグループの中で決まっている「全員一致」したがつてどうするかを話しあっています。それぞれ話すうちに疑心暗鬼になっていき…それからどういう風に話し合うのか、最終的にどんな決断をするのかという所がとても面白いので是非読んでみてください。

『365日、君にキセキの弥生桜を。』 櫻井 千姫 著



桜舞い散る世界で紡がれる奇跡と感動のストーリー。

この物語はネット上の都市伝説「きさらぎ駅」をモチーフにしています。都市伝説の本と聞くとホラーっぽくて怖いかもしれません。しかし、全体的にほのぼのとした楽しい作品です。

主人公の女子大生の唯は就活で連敗続き。ある日、帰りの電車で眠り込み『弥生桜』という異次元の町に迷い込んでしまふ。さらに唯の体は、18歳に戻っていた。そして、驚くこと

に元の世界に戻れるのは一年後であった。唯は弥生桜で生活することを決める。弥生桜で暮らしながら、唯は自分自身を見つけていく。弥生桜で一年を過ごし、唯が最終的に選んだ道は…。ぜひ読んでみてください。

1月 図書館報告

○開館日数	13日
○受入れ冊数	82冊
○貸出し冊数	108冊
・一年生	27冊
・二年生	34冊
・三年生	10冊
○生徒計	71冊
○教職員計	37冊

新着図書あんない		編集発行 武南高校図書館 2023. 2. 21		
書名	著者表示	出版社	分類番号	リクエスト/寄贈
< 100 哲学 >				
ハッカーと画家	川原 礫	オーム社	007.3	リクエスト
忘れる読書	落合 陽一	PHP研究所	019	
絵本はホスピタリティの宝箱	元気が湧く//編	かもがわ出版	019.5	
霧中の読書	荒川 洋治	みすず書房	019.9	
多様性の時代を生きるための哲学	鹿島 茂	祥伝社	019.9	
あしたから出版社	島田 潤一郎	筑摩書房	023	
松江日乗	イノハラ カズエ	ハーベスト出版	023	
私たちは世界の「悪」にどう立ち向かうか	東京大学東アジア藝文書院//編	トランスビュー	041	
マスク社会が危ない	明和 政子	宝島社	143	
君は誰と生きるか	永松 茂久	フォレスト出版	159	
もう一度、チャレンジ	本田 晃一	祥伝社	159	
齋藤孝読めば道は開ける365日一日一言	齋藤 孝	世界文化ブックス	159.8	
1日1篇「人生を成功に導く」365人の言葉	『PHP』編集部//編	PHPエディターズ・グループ	159.8	
< 200 歴史 >				
ホロコーストを生きぬいた6人の子どもたち	キャス・シャックルトン//作・絵	合同出版	209.7	
ジェンダーレスの日本史	大塚 ひかり	中央公論新社	210	
< 300 社会科学 >				
壊れゆく世界の標	ノーム・チョムスキー	NHK出版	304	
バカと無知	橋 玲	新潮社	304	
考えよ、問いかけよ	黒川 清	毎日新聞出版	304	
学校では教えてくれない地政学の授業	茂木 誠	祥伝社	312	
科学的思考トレーニング	牧 兼充	PHP研究所	336	
ビジョンとともに働くということ	山口 周	祥伝社	336.1	
人間関係を半分降りる	鶴見 済	筑摩書房	361.4	
同調圧力のトリセツ	鴻上 尚史	小学館	361.4	
説得しない説得力	四方 俊司	毎日新聞出版	361.4	
大人になる前に知る老いと死	前沢 政次	ペリかん社	367.7	
指と耳で見る、目と手で聞く	金治 直美	ペリかん社	369.2	
奨学金、借りたら人生こうなった	千駄木 雄大	扶桑社	373.4	
進路格差	朝比奈 なを	朝日新聞出版	376.4	
人間科学部	大岳 美帆	ペリかん社	376.8	
芸術学部	浅野 恵子	ペリかん社	376.8	
歯学部	橋口 佐紀子	ペリかん社	376.8	
生活科学部・家政学部	木村 由香里	ペリかん社	376.8	
「文理佐藤学園」という物語	佐藤 英樹	筑摩書房	377.2	
ドアはあけたらおさえましょう	ジョン・ブリッジズ	サンマーク出版	385.9	
< 400 自然科学 >				
文系のためのめっちゃやさしい次元	浅井 祥仁//監修	ニュートンプレス	415.2	
いのちの居場所	稲葉 俊郎	扶桑社	490.4	
急に具合が悪くなる	宮野 真生子	晶文社	498	
< 500 技術・工学 >				
化学技術者・研究者になるには	堀川 晃葉	ペリかん社	507	
土木技術者になるには	三上 美絵	ペリかん社	510.7	
黒い海	伊澤 理江	講談社	557	リクエスト
刺し子のきほん	いちき ゆきこ	主婦の友社	594.2	
ショールを編む52週	レイネ・パブリッシング	グラフィック社	594.3	
大原千鶴のいつくしみ料理帖	大原 千鶴	世界文化ブックス	596	
それでも食べて生きてゆく東京の台所	大平 一枝	毎日新聞出版	596.9	
< 700 芸術・美術 / 800 語学 >				
いい絵だな	伊野 孝行	集英社インターナショナル	720.4	
西洋絵画を知る100章	田中 正之//監修	平凡社	723	
オーウェル『1984』を漫画で読む	ジョージ・オーウェル	いそっぷ社	726.1	
写真の隙間	佐藤 大史	信濃毎日新聞社	740.4	
五島列島	山本 一//写真	求龍堂	748	
僕はつなぐ	阿部 勇樹	KADOKAWA	783.4	
教養としての上級語彙	宮崎 哲弥	新潮社	814	
< 900 文学 >				
詩とことば	荒川 洋治	岩波書店	901	
あなたのための短歌集	木下 龍也	ナナロク社	911.1	
俳句の不思議、楽しさ、面白さ	武馬 久仁裕	黎明書房	911.3	
遠景	井戸川 射子	思潮社	911.5	
ラ―グより愛を込めて	辺見 じゅん//原作	文藝春秋	913	
約束の果て	高丘 哲次	新潮社	913	
破局	遠野 遥	河出書房新社	913	
百花	川村 元気	文藝春秋	913	
ノーサイド・ゲーム	池井戸 潤	講談社	913	
昭和の名短篇	荒川 洋治//編	中央公論新社	913	
川のほとりに立つ者は	寺地 はるな	双葉社	913.6	
教諭	柚月 裕子	小学館	913.6	
よくがんばりました。	喜多川 泰	サンマーク出版	913.6	
まあらしい一日	いしい しんじ	BL出版	913.6	
虫とゴリラ	養老 孟司	毎日新聞出版	914	
成熟スイッチ	林 真理子	講談社	914.6	
編めば編むほどわたしはわたしになっていった	三國 万里子	新潮社	914.6	
98歳まで生きてわかった、「超ポジティブ思考」がいちばん!	宇野 千代	幻冬舎	914.6	
折れない言葉	五木 寛之	毎日新聞出版	914.6	

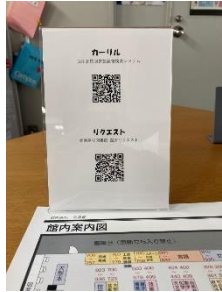
タブレット、スマホから図書館の蔵書検索、本のリクエストができます。

<検索方法>

1. インターネットにアクセスできるタブレット、スマホで Safari 等の Web ブラウザを開き、以下の URL へアクセスします。

<https://private.calil.jp/gk-2003571-p5a6i/>

2. フリーワード欄に、検索したい本の書名等のキーワードを入力し、虫めがねアイコンを押します。



図書館カウンターにも蔵書検索、リクエストの URL を記載した QR コードがあります。

機能 UP! 検索の結果、蔵書になかった本は、購入のリクエストをすることができます。

<https://forms.office.com/r/pLVzsRRWvp>



3. 検索結果が表示されます。



検索された書籍を選択し、「詳しい本の情報を見る」を押すと、本の詳細を確認する事ができます。



機能 UP!

請求記号より、館内の本の場所が分かります。
(図書館の本はここに表示される NDC(日本十進分類法)分類記号順に並べられています。)

<注意事項>

- ・赤本、雑誌は検索対象外となります
- ・検索結果の図書が書庫にある場合もございます
- ・検索結果に、本の貸し出し状況は表示されません